



# SALVATIONIST

# とぎのこえ

2019年標語「主の栄光を語り伝えよう」(旧約聖書 歴代誌上 16章24節)



二〇一九年三月十五日 発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

陽春号

広報版

2019

March-April

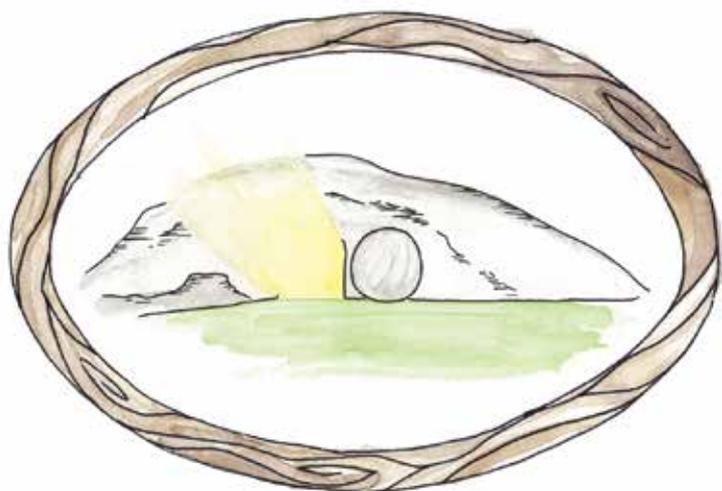
No.2781

2019年 救世軍標語

# 「主の栄光を語り伝えよう」

国々に主の栄光を語り伝えよ  
諸国の民にその驚くべき御業を。

聖書箇所：歴代誌上 16 章 24 節



## 今年のイースターは 4月21日です！

「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出さない。」

(ルカによる福音書 24 章 5、6 節)

-----きりとり-----

- 『とぎのこえ』購読を申し込みます。  
(1年分 1140円。税込、送料別)
- キリスト教についてもっと知りたいです。

ご氏名 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

表紙の写真：初野戦で証言をする、ダニエル&リエン・ラボシエール特務曹長夫妻と通訳の山谷真少佐

### もくじ

- メッセージ  
慈善の業をやり遂げよう！  
書記長官 大佐補 藤井 健次 …… 3
- (連載) 献身物語～十人十色～第94回  
私は、私の神様を全く信頼しています！  
中尉 マーサ・アプワン …… 4
- (連載) 聖潔の流れに立つ 第五回  
ウイリアム・ブースの聖潔  
中将 張田 望 …… 5
- 集会報告  
初野戦  
克己週間出発集会 …… 6  
救世軍月島会館落成式
- 各地のニュース!!  
西日本連隊(九州地区)  
静清小隊 …… 7  
月島小隊、岡山小隊 …… 8  
東京東海道連隊(東京地区)  
新年救世軍人大会、  
特別養護老人ホーム恵みの家  
山室軍平記念救世軍資料館、仙台小隊 …… 9
- 西日本連隊  
第38回あべちか社会鍋と  
クリスマス・コンサート、初野戦、  
新年懇親会(京阪神・四国地区)  
清瀬小隊 …… 10
- コラム  
一日千秋 士官学校付 少佐 石坂 奈緒美  
温故知新 士官学校長 少佐 熊田 光子
- 立ち止まってみませんか？  
霊的生活成長部長 大尉 中島 美和 …… 11
- YP (青少年部)・ファミリーニュース  
杉並小隊、月島小隊、浜松小隊  
祝成人！  
八幡小隊 …… 12
- 災害対策室レポート
- 社会鍋の支援活動
- 主の栄光を語り伝えよう  
証言 士官候補生 友安 渚 …… 13
- 救世軍公報  
克己週間募金 パートナーズ・イン・ミッション …… 14
- 召天記事
- 救世軍歌集 作者物語 第230回 …… 15
- こどもと青年のための祈りの週間
- 支援活動アルバム …… 16

# 慈善の業をやり遂げよう！

克己週間出発集会説教（コリントの信徒への手紙二 8章1〜7節）

書記長官 藤井 健次

克己週間募金に救世軍のユニークさを思う。実践の団体としての救世軍らしいものである。山室軍平は、「救世軍の宗教とは何か。一、失せたる者を尋ねて救う救霊の宗教 二、貧しき者は福音を聞かせられる民衆の宗教 三、道やまがきのほとりに行き、人々をして連れ来る進撃の宗教 四、飢えし時に食わせ、かわきし時に飲ませ、旅人なりし時に宿らせ、裸なりし時に着せ、病みし時に訪い、獄にありし時に仕える実行の宗教である。五、ユダヤびともギリシャびともなく、どれいも自主もなく、男も女もなく、キリスト・イエスにありて一体たる、万民同胞主義の宗教である」と書いた。

一年間毎日プディング（デザート）を我慢して、そのプディング相当額の五十シリングを献げます、というメモを大将に渡したところ、大将は、それを読み上げ、会衆に「ここに良いアイデアがある。プディングを一年間我慢せよなどと人にしていることを私はしない。そのかわり一週間だけ人々が一緒に何一つを節約し、そのお金を働きの前進のため献げたらどうでしょうか」と告げた。その後開催された、第一回目の克己週間には五千ポンドが献げられたということである。一人の士官の克己の精神で始まったのがこの募金運動である。

日本における克己週間の募金運動は、日本で救世軍の働きが開始された明治二十八（一八九五年）の翌年から始まった。明治二十九年の十一月に一週間守られた。この期間中、士官たちは屋敷を抜いて克己し、おかゆと塩だけで過ごした人もあった。戦友も思い思いの克己をして献金をしたとある。ある救世軍の支援者は一週間間人力車に乗らずに節約したお金を献金した。全国での献金額は合計二十六万四千九百九十と記録されている。『神の国を目指して』第一巻より）

克己は、パウロが書いているように、慈善の心、他者に目を向け、他者のために自分には何ができるかを思うところから始まる。異邦人伝道のために働いたパウロの心は母教会とも言えるエルサレムの教会にあり、その困難に心を痛め、支援金を募っていた。マケドニア州の諸教会が応じてくれたことをコリントの教会に紹介し、その募金に参加するよう勧めている。マケドニアの諸教会は決して豊かであったわけではないが、自主的に募金に応じた。克己は他者に対する愛である。聖霊に満たされた人、聖い人の性質、神がお求めになる清さはどこにあるのか。聖霊に満たされ、キリストに似た者とされるのは、内なる性質にかかわるものである。ガラテヤの信徒への手紙五章にあるように、それは神の与える聖霊の実である。神は私たちを、聖霊の実を宿す者であれ、と招く。そして、「私」から「あなた」に目を向ける者に変えられ、その目と手は、慈善の働きにつながっていく。キリストの愛が、私たちを動かしていく。

救世軍は聖霊の働きによって生み出された。私が救世軍に連なつてこの方を思う時、救いに与つた幸せ、救世軍に導かれた幸せ、秩序ある世界と、その中に尊敬すべき士官に出会つたことを感謝する。小学生の時に笠岡小隊に導かれた私が中学生だった折に、近所で火事があった。それを見に行くと、何人かの人が火事の家から家財を持ち出す中に小隊長がいた。見ず知らずの家を一生懸命助けていた。また、士官となり、若

松小隊に遣わされたとき、山奥に柳津分隊があり、ある士官がその働きを始めたことを聞いた。また、独身時代に街頭生活者を支援する際、救世軍の男子宿泊所の施設長の親身な言葉に、私自身が救われた。救世軍士官の本質は愛にある。神が愛なるお方であるゆえに、神が共におられる時、その愛が人を造りかえる。ブレングル中將は、記している。「聖潔は神の御性質に似せられた状態である。神は愛である。ここには、聖い人間も愛であるという意味合いがある。聖い人は神に似ているとは言え、神の本質を持っておられる権能・知恵・知識・遍在の完全さにおいて似ているのではなく、忍耐・謙遜・自制・心の清さ、そして、愛において似ているのである。大洋の一点が、その本質の点で、大洋と同じ成分であると同様に、聖い靈魂も神に似ているのである。……聖い人が神のように聖いのも、これと同じである。」（聖潔をめぐして）

救世軍の本質は聖潔であり、クリスチャンの本質は愛である。世の終わりが近づくと、愛が冷えると聖書は記す。今、「私」にのみ目が向けられ、憎悪に満ちた発言やおこないが目につく時代であり、インターネットにもいわゆる炎上が満ちている。救世軍は万民同胞主義（国際主義）である。肌の色や国籍に関係なく、共に手を携えて神の国を築く群れである。自国第一主義・利己主義が世界を覆うこの時代にあつて、愛なる神は私たちに何を求めておられるだろうか。目を外に向け、その世界に生きる人々たちを見なさい、と招いておられる。私たちは慈善の業に富む者でありたい。自発的な献げものを神に献げていきたい。慈善の業を世の終わりまでやり遂げる者として。

（大佐補）

〔連載〕

# 献身物語

第94回

～十人十色～

## 私は、私の神様を 全く信頼しています！

中尉 マーサ・アプワン



私が三歳の時、母は姉と私を教会に連れて行つてくれました。母は裁縫教室に通っていて教会に誘われたのです。テキサス州エルパソで、母と姉妹と一緒にバプテスト教会に出席し、母は日曜学校の教師になり、最終的には女性の働きのリーダーになりました。私は、十歳の時にクリスチャンになり、ここで、私の宣教への愛が芽生えました。子どもの頃には、ソロで歌うために椅子に乗ってマイクに手を伸ばしていました。幸せな子ども時代でした。

ところが、その後の人生は容易ではありませんでした。私は恥ずかしがり屋な上、小さかったので、学校でクラスメイトにいじめられました。三年生と六年生の時には、先生にもいじめ

られました。その傷は癒えましたが、辛い思い出は今も残っています。

数年後、私は一枚の夏期聖書学校のハガキを受け取り、妹を連れて参加しましたが、私は妹と一緒にでしたが、

ある秘密を隠していました。私には、その時、生後九カ月の女の赤ちゃんがいたのです。私は、友達をつくるつもりはなかったのですが、何も言いたくありませんでした。そこで、夫のジーン(ジエネシス)に会いました。彼は、突然私に電話をかけてきたのでした。

以来、神様は私たちをカリフォルニア、コロラド、アイダホ、オレゴン、ネバダ、アラスカ、そしてアリゾナに導き、ジーンと私はアリゾナの児童養護施設で十三年間過ごしました。そこで子どもたちを育て、多くの男の子たちの世話をしました。私はその家族が大好きで、とても親しい関係になりました。

も、私たちが一緒にいない間も面倒を見てくださっていると感じています。ジーンと私には三人の子どもと、三人の孫がいます。二〇一七年十一月に日本派遣の問い合わせを受け、私たちはすぐに「はい」と答え、一カ月後には、書類を作成しました。私のパスポートとビザの関係で、到着に遅れが出ましたが、前

りしなさい、とは言っておられません。イエス様について他の人に話すことによつて、神様が人を変えくださるのです。

十三、四歳の頃、夏期聖書学校の案内を通して救世軍に出会いました。救世軍は私の家から二ブロックのところであり、学校へ行く途中、小隊の前を通っていました。ある夏、夏期聖書学校の看板を見て、参加すると、とても楽しくて、すてきな思い出がいくつもできました。翌年も夏期聖書学校の看板を楽しみにして、また出席しました。けれども、次の年にはその小隊が移転してしまい、参加することができませんでした。とても残念でした。

その夏期聖書学校から九カ月後の一九九一年五月二十四日に結婚。私は娘と一緒に救世軍に通い始め、やがて兵士になり、日曜学校の就学前のクラスを教え始めるようになりました。私は子どもと女性に教えることが大好きなのです。また、小隊の皆さんがとても歓迎してくれました。小隊で過ごすことが、まるで我が家にいるように感じました。

「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない」(箴言3・5 口語訳)

これまで日本の生活はとても良い経験です。共に働き礼拝する方々は本当に親切で、私たちが理解してくれています。最大の課題は言葉ですが、ジェスチャーで分かってもらうのも面白いのです。日本の文化は美しく、日本人の生き方や信仰を尊重しています。

「強く、また雄々しくあれ。恐れてはならない。彼らのゆえにうろたえてはならない。あなたの神、主は、あなたと共に歩まれる。あなたを見放すことも、見捨てられることもない。」(申命記31・6)

士官としての生活は容易ではありませんが、士官としての人生を愛しています。私は他の人にイエス様のことを紹介することを楽しんでいますが、いかに福音のメッセージを創造的に伝えるかを楽しんでいきます。私の人生を支える聖句は、

「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない」(箴言3・5 口語訳)

「強く、また雄々しくあれ。恐れてはならない。彼らのゆえにうろたえてはならない。あなたの神、主は、あなたと共に歩まれる。あなたを見放すことも、見捨てられることもない。」(申命記31・6)

私は、私の神様を全く信頼しています！



結婚式で。夫ジェネシスと



米国で。青年たちと

「強く、また雄々しくあれ。恐れてはならない。彼らのゆえにうろたえてはならない。あなたの神、主は、あなたと共に歩まれる。あなたを見放すことも、見捨てられることもない。」(申命記31・6)

私は、私の神様を全く信頼しています！

(江東小隊付)



昨年の社会鍋で

〈連載〉 聖潔の流れに立つ 第五回

ウイリアム・ブースの聖潔

中将 張田 望

救いと聖潔の経験

(承前) ウイリアムが十七歳の時に、米国の巡回伝道者ジェームス・カウエーがノッティンガムで特別集会を開きましたが、その熱烈な説教「喜びをもって主に仕えよ」は彼に深い感動を与えました。彼はカウエーの集会で、チャールス・ウエスレーの歌を熱心に歌い、集会を助けました。

ブースは、その時の霊的経験を次のように語っています。

「私は、人間が全く聖くされることを、聖書が主張していること、また、賛美歌集、主にチャールス・ウエスレーの歌が、聖潔のそのうるわしさと真価を燃え立たせていることを悟っていました。回心後、私はこの真理を浸透させる熱烈なリバイバルの中に投げ込まれました。私の新生した魂の霊的関心は、その恵みを信じるまでは落ち着きませんでした。多くの人々がその恵みを求め、それを得た証言をしていました。やがてその恵みは私にも注がれたのです。それ以来、その恵みは私に注がれ続けています。それは幸せの状態で、有用な生涯の資質であり、天国への備えです。」  
この言葉は、ウイリアム・ブースがはっきりと聖潔の恵みを自分のものとしたことを示すものでした。

ウイリアムは若いころから、もっぱらジョン・ウエスレーを尊敬し、「神は一人、ウエスレーはその預言者です」と言い、その著書を愛読し、なにをするにも彼を標準とするようになりました。聖霊に燃やされ、満たされ、ますます、魂を愛し、伝道者の道を進んでいくのでした。

救わんために救われた

ウイリアムは、質屋で働きながら、教会から任じられた祈禱係の奉仕を続けていました。それに加えて、平日は、十二時間の勤務の後、親友のウィル・サンソンという青年と、市内の最も貧しい地区の軒下や街頭で説教し、人々のために祈るようになりました。当時、一人の物乞いをしてきた老婦人の衣食住のために資金を集め面倒をみました。これは、彼の最初の社会奉仕活動と言われています。

彼とその仲間たちは、そこで導かれた人たちを日曜日の教会での礼拝に連れて行きましたが、ぼろをまとったような一団は教会では歓迎されず、会堂の隅に押し込まれました。

ウイリアムはある時、牧師から、伝道師になったらどうかという勧めを受けましたが、医師から、「十二カ月もたず墓に葬られるであろう」という診断を受け、伝道師となる道が閉ざされました。その後教会から定住伝道師に任命され、貧困地区での集会に加え、毎日曜日には村落を訪ねて、二回以上の集会をおこなうことになり、熱心にそのためにも活動し続けていました。

質屋の年季奉公が終わり、ウイリアムが二十歳になった時、ノッティンガムを去り、ロンドンに出ました。彼は故郷でしたように、ある商家に勤め、空いた時間を霊魂の救いのために尽力することを惜しみませんでした。二十歳の十二月、ウイリアムが決意したものが残っています。そこには、神の助けによって次のよう

なことをする約束が記されています。

- 一、毎朝、五分以上の祈りの時をもちます。
  - 二、無駄でたわいのない話をするのを避けるようになります。
  - 三、この世と友人たちに、小羊の血の熱心な求道者にふさわしい、謙遜と柔和をもって交わり、彼らが永遠の命を求めるような言葉をかけ、また、行動します。
  - 四、毎日、聖書を四章以上読みます。
  - 五、神と共に生き、心の聖さを求め、先のことはすべて神にお任せします。
  - 六、この決意を毎日、あるいは少なくとも週二回は読みます。
- 「私は弱い者で神の助けがなければ一日もこの決意を守ることはできません。  
主よ、私の魂を憐れんでください。」

十九世紀中ごろに、イギリスやアメリカのメソジスト教会の中で、「聖潔の運動」と呼ばれるリバイバル(信仰復興)の風が吹きまくりました。その風による波は高く、教会に大きな影響を与えました。多くの人が救いと聖潔の恵みに導かれたのですが、メソジスト教会の中に改革運動が起こり、様々な分派が生まれました。ブースはその分派活動に翻弄(ほんろう)されることとなりました。彼はメソジスト教会から離れ、メソジスト改革派、メソジスト新派のなかで巡回伝道者あるいは牧師として活動しています。

一八五二年、ウイリアムは二十三歳の誕生日に、靴屋のラビッツという人物がスポンサーとなり、信徒伝道者から、フルタイムの巡回伝道者に、また、牧師の職につきました。彼の説教は、真実で熱烈であり、人を引きつけました。ある時には、二カ月の伝道の結果、七百人が求道者となりました。また、故郷のノッティンガムでは回心した人が七百四十人あったと伝えられています。

(続く)

# 集会 報告

## 初野戦

1月2日(水)午後1時30分 上野恩賜公園

## 克己週間出発集会

2月8日(金)午後7時 山室軍平記念ホール

### 初野戦

澄み渡った青空の下、上野恩賜公園のカエルの噴水前で、新春恒例の初野戦がおこなわれました。



人事・教育部長石川一由紀少佐が、そぞろ歩く国籍多彩な人々に新年の挨拶と恵みの集いへの招きをして開会。ジャパン・スタッフ・バンドの演奏や、賛美歌が人々の耳目を集めました。

東京東海連隊長石川和男少佐は、新しい年への祝福を祈り、書記長官藤井健次大佐補が年末の社会鍋への感謝と共に挨拶。司会者が救世軍の2019年のテーマ・コーラスを歌いつつ紹介し、昨年アメリカから来日した、

ダニエル・ラボシエール特務曹長、リエン・ラボシエール特務曹長夫妻が、聖書の言葉を紹介しつつ神様を信じる人生の祝福について証しし、賛美の歌を歌いました。(写真は表紙に掲載)



司令官ケネス・メイナー大佐は、新しい年の初めのこの日、信仰の有無にかかわらず、神と共に歩む生き方への新たな決断の祈りをするよう語り、人々を祈りに招きました。

最後に軍国女性部会長シェリル・メイナー大佐が祝福を祈りました。(参加者332人)

### 克己週間出発集会

ジャパン・スタッフ・バンド(JSB)による前奏によって静かに開会し、軍国女性部書記補佐石川



芳子少佐の司会で進められました。「赤青黄の三色に」を一同で賛美し、木村敏一曹長(渋谷)が、「創立者の掲げた克己の精神によって自ら献げ、募金運動に携わる人人が神の愛によって出で行き、救世軍が心一つにしてこの運動に邁進できるように」と祈りました。

司令官は挨拶で「あなた方の内に良いことを始められた方は、必ずなさせてくださる。大切なことは私たちが何を献げることができるか、である」と語り、テーマ

コーラスの後、財務管理部長補佐ジョナス・ランドバーグ特務曹長が、「来日までに長い時間がかかった。一度来日申請が日本政府に却下され、二度目の申請で受け入れられた。来日について父は応援してくれたが、母は日本に来ることを悲しんだ。来日前に4年間英国ロンドンに滞在したが、私がか家を離れることは家族の犠牲を伴うことだった。私は救世軍のために何かをなしたいと思いつけてきた。犠牲は自分自身の意志に反して起こる。決断は受けるか与えるかのどちらかである。先のことを知ることはできないが、神のために犠牲を払う時に多くを得ることができる」と証しました。

克己週間のプレゼンテーション(スライド)が上映され、バングラデシュ地区における「OTHERS」(女性の経済的自立支援活動)の働きが紹介されました。

その後、財務管理部長寺澤勇少佐が、克己週間募金の軍国標的を13,540,000円と発表し、「世界の必要を

覚えてこの働きに携わり、献げてくださる方々が多く与えられ、その方々の上に神の祝福があるように」と祈った。JSBの演奏、会衆賛美の後、小谷野みぎわ唱歌隊長(京橋)の独唱「心くじけて」(一羽の雀)が献げられました。

聖書朗読(コリント二 8・1~7)に続いて、書記長官藤井健次大佐補は、「慈善の業をやり遂げよう!」と題して語りました(2ページに掲載)。祈り



の時には、神の愛に生きる者として招かれていることを覚え、それぞれ聖潔を求め、献身の祈りを献げました。

閉会祈りを軍国女性部会長シェリル・メイナー大佐が献げて散会しました。(会衆93人)



### 新しい軍国特務曹長

2019年1月4日(金)の新年士官会(東京地区)の席上、司令官は、ジョナス・ランドバーグ兵士(スウェーデン及びラトビア軍国)を日本軍国の特務曹長に任命し、財務管理部長補佐の辞令を授与しました。



# 集会 報告

## 救世軍月島会館落成式

2018年12月15日(土)午前9時30分テープカット

### 月島会館落成式

定刻、月島・神田・京橋小隊合同バンド(写真右)による奏楽のもと、司令官ケネス・メイナー大佐の開館宣言後、救世軍月島会館



のテープカットがなされました。

10時、書記長官藤井健次大佐補の司会、司令官の司式で落成式が執りおこなわれ、席上、建築に携わった株式会社三井ホームデザイン研究所様、三井ホーム株式会社様、建築技術支援協会阿部市郎氏(京橋小隊名誉書記・写真下)に感謝状が贈呈されました。

合同バンドによる演奏の後、司令官は「行こう」(詩編122・1~9)と題し、神への礼拝を献げる場に向かう



喜びの大きさを語り、月島小隊の新会館がその祝福を多くの人人にもたらすことができるように、とメッセージしました。

月島会館は、木造三階の耐火構造建築。1階が月島小隊、2、3階が救世軍シーサイド・ハウス(小隊士官宅及び本営職員住宅)となっています。落成式後に1、2階が公開され、見学の時をもちました。(会衆93人)



## NEWS!! NEWS!!

### 各地のニュース!!

### 西日本連隊

2019年1月14日(月・祝)、九州地区の新年懇親会が、八幡小隊を会場におこなわれました。

午前の第1部は礼拝。八幡小隊長樋口和光少佐の司会で進められ、小石晃子副曹長(福岡)が母によって導かれた信仰の歩みを振り返りつつ、その恵みを証言。連隊長添田美和大尉は、軍国標語の聖書箇所を含む歴代誌上16章23~36節より「主の栄光を語り伝えよ」と題しメッセージ。ダビデのように、思いを尽くして神を賛美し、喜びをもって祈りつつ、御救いの良い知らせを語り伝える者でありたい、と語りました。



午後は、第2部会食と親睦。森山修一曹長(八幡)の司会で、



北九州名物かしわ飯弁当をおいしく食べながら、和やかに進められました。

昨年の八幡小隊でのクリスマスキャンドルサービスの録画から、トーンチャイムやメロディーベルの演奏などを聞き、恵みを分かち合いました。樋口愛子少佐(八幡)がゲームを導いて親睦を深め、福岡小隊参加者が、小隊長山本克己少佐のギター伴奏で「アメージング グレイス」を英語と日本語で賛美しました。最後に連隊女性部書記加藤直子大尉が勧話をし、新しい恵みと感謝の思いをもって散会しました。(会衆21人)

### 静清小隊

2018年12月2日(日)、司令官ケネス・メイナー大佐を迎えた聖別会の席上、松永節也さんの准兵士宣言がなされ、会衆一同喜びの時をもつことができました。



NEWS!!  
NEWS!!

各地のニュース!!

月島小隊

新会館献堂記念聖別会

12月16日(日)、京橋小隊、月島小隊の合同で聖別会がもたれました。東京東海道連隊長石川和男少佐を迎え、席上、加藤楽隊員夫妻の次女枝真ちゃんの献児式がおこなわれました(写真及び記事は12ページに掲載)。

続いて、連隊長より5人の下士官に下士官永年勤続章が授与されました。12月7日に召天された添田信義少佐(楽隊員)に代わり、添田和子少佐が勤続章を受け取り、改めて添田少佐の月島小隊における長年のご奉仕に一同で感謝しました。(会衆51人、恵の座12人)



岡山小隊

新会館献堂

岡山市民会館移転にともなう小隊移転のため、1月13日(日)に新会館献堂記念集会がおこなわれました。

午前10時半、晴天の下、新会館前にて、ブラスアンサンブルによる賛美がなされ、書記長官藤井健次大佐補の司式によってテープカットが宣言され、軍国女性部書記藤井千明大佐補がテープにはさみを入れました。

午前11時、献堂記念聖別会が小隊長細貝信義大尉の司会、丸畑美智子少佐と丸畑恵兵士の奏楽で進められました。一同で「主のみ救い」を高らかに賛美し、連隊長添田美和大尉が感謝と願いを祈り、教理交読後、書記長官の式辞、武田忍曹長による建築経過報告がありました。

来賓の岡山博愛会更井哲夫理事長より、戦後まもなく救世軍の土地を守られた先代理事長(ご尊父更井良夫)



のお言葉を通し、救世軍があるべきところに新しく小隊が建て上げられた、と励ましと共に祝辞をいただきました。「われは神の宮」を賛美しつつ献金。妹尾美子兵士がマタイによる福音書16章13～20節を朗読、書記長官は、「キリストの教会を建てる」と題して語りました。主がこれからも岡山の地を祝福し、導かれると信じ、一同心を合わせて祈りました。

記念撮影後、旧会館に移動し、記念愛餐会。感謝の祈りで始め、会食後、各方面からお祝いの言葉をいただきました。西日本連隊中国地区や高松小隊から小隊士官や施設長、戦友等が出席し、良い交流の機会となりました。武田忍曹長の感謝の言葉、丸畑幸夫少佐の祈りをもって閉会。岡山小隊の新しい出発の時として、感謝と恵

み、主への期待をもって散会しました。  
(会衆93人、愛餐会89人)



## 東京東海道連隊(東京地区)

### 新年救世軍大会

2019年1月13日(日)午後2時30分より、神田小隊でおこなわれました。連隊連合バンドによる「主なる神にさかえあれ」の前奏で開会。渋谷小隊長山谷昌子少佐の司会で進められ、救世軍のミッションステートメントを一同で読み、大平



伊佐子青少年部曹長(大森)が開会祈禱を献げました。連隊長石川和男少佐の挨拶と、ロールコールとして、スライドで各小隊・士官学校の紹介と2018年に入隊・入団された方々を紹介しました。



新成人のお祝いには、この日出席した石川凜さん(杉並)、寺澤基輝さん(杉並)、謝慕揚さん(横浜)に青少年部長石坂臣司少佐がお祝いの言葉と共に聖書を贈呈し、祝福の祈りを献げました。(成人者の写真は12ページに掲載)



青少年部のダニエル&リエン・ラボシエール特務曹長夫妻

が日本語でインタビューし、新成人の自己紹介とそれぞれの抱負などを聞きました。続いて、連合バンドによる演奏の間に2018年の連隊内での活動をスライドで振り返り、熊田満基兵士(横浜)が聖書朗読(歴代誌上16章24節)。最後に連隊長は、「主の栄光を語り伝えよう」と題し、「わたしたちが主のすばらしさを語り伝え、主の栄光を表す器として豊かに用いられるように」とメッセージしました。祈りの時がもたれ、主の御栄えのために仕えていく思いを新たにしました。後奏では、連合バンドの演奏に合わせてタンバリンの操練もなされ、祝福の時を閉じました。



集会后は地下でティータイム。和やかな時を分かち合った後、散会しました。(会衆132人、恵の座5人)



## 山室軍平記念救世軍資料館

1月19日(土)、上智大学人間科学部社会福祉学科の非常勤講師国重智宏氏以下16人の学生たちが来館されました。救世軍の社会事業に対する姿勢や救世軍の歴史について学びの時をもたれました。前館長朝野洋中将が、わかりやすく説明したので、学生も興味をもたれていたようでした。後日、学生の感想をいただき、文面から、山室軍平の生き方、救世軍の歴史、特に廃娼運動に象徴される働きの今日性への気づきなどがあったことがわかりました。



## 仙台小隊

2018年12月8日(土)、岩手県大船渡市にある非営利型一般社団法人「かたつむり」



(就労継続支援B型事業所)で、震災以来毎年恒例となっているクリスマス会をおこないました。永尾勉書記のファミリーバンドが歌と演奏で参加。事前に録音したセリフとナレーション(山岸会計夫妻、栗飯原中尉夫妻)に合わせてスライド上映したクリスマスのお話、利用者の皆さんは耳を澄ませて聞いていました。若松小隊長松末泰志大尉もトラの着ぐるみで応援参加し、会場は大いに盛り上がりました。最後にプレゼントを一人ひとりに手渡し、喜びの時を終えました。(写真は16ページにも掲載)

## 特別養護老人ホーム恵みの家

12月8日(土)、入居者のご家族をお迎えしてクリスマス会をもちました。ゲストに書記長官藤井健次大佐補、軍国女性部書記藤井千明大佐補を迎えました。

毎週の礼拝のように、皆さんまっすぐ顔を上げて「いつくしみ深き」を賛美。そして「主の祈り」を献げました。お楽しみのカロル賛美は白戸事務員のソロ。そして今年結成された、ユニット代表メンバーによる「めぐみシンガーズ」による赤鼻のトナカイ、ギター伴奏にリズム楽器も加わり、元気な歌声が響きました。「こんな楽しかったの初めて!」との声。書記長官はルカによる福音書2章から「夜空に響く天使の歌声」と題してクリスマスメッセージを語りました。その後、各ユニットに戻り、職員・入居者・家族同士が親しさを増す和やかな昼食会をもちました。「楽しかった!」「おいしかった!」の声を残してご家族はお帰りになりました。共に信仰を思う時となりました。(参加者195人)



# NEWS!! NEWS!!

## 各地のニュース!!

### 西日本連隊

#### ●第38回あべちか社会鍋とクリスマス・コンサート

2018年12月9日(日)午後2時30分より、11月にリニューアルされたあべちかの花時計広場でおこなわれました。木村照子少佐(西成小隊)の司会によって進められ、出演者の合唱団エスポワール・クワイヤー、救世軍大阪セントラルホール・バンド(OCB)、天満小隊家庭団タンバリン隊が、クリスマスの音楽を買い物客でにぎわう地下街に届けました。買い物客や通行人が足をとめて、耳を傾けていました。また、連隊長添田美和大尉が、クリスマス・グリーティングとして、聖書の中からクリスマスの本当の意味について語りました。

1時間ほどのコンサートに、出演者も含めて約200人が集いました。



#### ●初野戦

2019年1月6日(日)午後、天満小隊が中心となって、天神橋筋商店街で初野戦をおこないました。



#### ●新年懇親会

1月20日(日)午後、西日本連隊京阪神・四国地区の新年懇親会が、大阪セントラルホールを会場におこなわれました。集会前に有志で広告野戦をしました。



第1部は56人が参加。関根義行曹長(天満)の司会で進められ、タンバリン操練、ジュニア・ソルジャー進歩章授与、新成人のお祝い(写真は12ページに掲載)、鈴木和美副会計(泉尾)の証言、バンド演奏がありました。連隊長が、軍国標語よりメッセージしました。

第2部は47人が参加。新しい方の紹介と歓迎、各小隊の抱負や出し物、プレゼント交換などがあり、和やかな交わりの時をもちました。(写真は泉尾小隊賛美)

### 清瀬小隊

#### ●クリスマスコンサート2018

12月14日(金)午後7時より、清瀬けやきホールにておこなわれました。

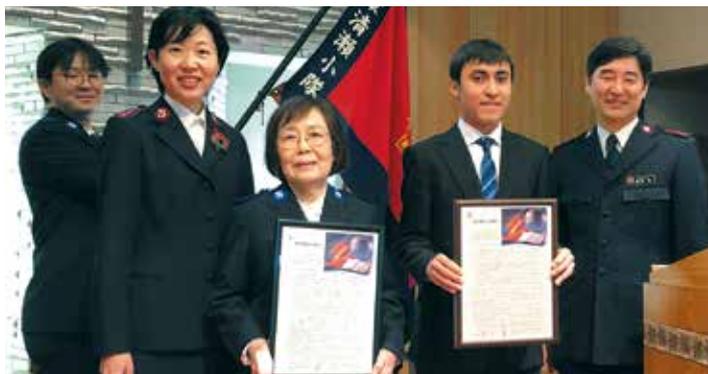
小隊長勝篔隆大尉の司会で進められ、ジャパン・スタッフ・バンドの演奏、小谷野みぎわさん(ソプラノ)、



池田実結さん(ヴァイオリン)、加賀都喜乃さん(ピアノ)のすばらしい演奏と証言を通して、クリスマスの恵みが来場者の方々に届けられました。また、書記長官藤井健次大佐補が「最高の贈り物をあなたに」と題して、クリスマスの喜びを伝えました。地域から沢山の方がホールにお越しくださいました。(会衆380人)

#### ●兵士入隊式

2018年12月23日、クリスマスサンデーの聖別会の席上、酒井信子さん、柳田樹人アルトウールさんの兵士入隊式が、小隊長の司式でおこなわれました。



# コラム

## 一日千秋 温故知新 立ち止まってみませんか？

士官学校付 少佐 石坂 奈緒美

士官学校長 少佐 熊田 光子

霊的生活成長部長 大尉 中島 美和



### 一日千秋

士官学校の生活の一端をご紹介させていただきます。士官学校で、小さい体でありながら、大きな存在として候補生と共に歩んでいるのが、候補生子女です。

12月は社会鍋が年末まであり、候補生はフルに訓練に励みます。一方、子どもたちは冬休みに入り、預かり保育を利用したり、スタッフと留守番をして冬休みの半分を過ごします。「いってらっしゃーい」と親を見送り校内保育？ スタート。夕食までの時

間が楽しい時間となるよう、スタッフも本人の思いを聞きながら予定を立てます。

ある日の朝のことです。Mちゃん「奈緒美少佐、社会鍋作ろう！」私「えーっ、どうやって？」Mちゃん「ダンボール切って」と一日が始まりました。なかなか上手いかない鍋底や三脚を考えながら、一緒に半日かけて、やっと社会鍋ができあがりしました。

すると、自然と社会鍋ごっこが始まり、1時間近く続きました。キッチンスタッフにも、事務所にいた勝篁隆大尉にも「お願いしまーす」と。

候補生たちの帰りを待ちながらの、校内でのもう一つの社会鍋でした。

### 温故知新

昨年末、やっと士官学校新校舎建築工事が始まりました。現在の学校は、築55年を超え、見た目は立派でも、中身は修繕の必要な箇所ばかりです。危険な場所もあり、今、候補生は、校舎の中に居住しておらず、救世軍オリブハウスから「通学」しています。

写真は、Before・Afterではありませんが、士官学校の校内で撮影した2枚です。白いドレスの女の子(左)の写真から、白いコートの男の子(右)の写真まで、約32年もの歳月が流れているのですから、それだけでも士官学



校の「新築」は当然のことと言えるでしょう。

とはいえ、現役の日本人士官は、すべてこの士官学校で学び、講堂の恵の座で誓約をしたことを思うと、新校舎の建築には複雑な感情も交錯します。

白いドレスを着ていた女の子は、2年前、ご主人と自分にそっくりな男の子と女の子と共に、士官学校に入校しました。そして、今春、現在の士官学校で誓約をする、最後の候補生の一人となります。

さて、数十年後、私は、白いコートの男の子にそっくりな男の子か女の子を抱っこできるでしょうか…？



### 立ち止まってみませんか？

昨年11月末にロンドンで「万国霊的生活成長会議」が開催され、それぞれの軍国から担当者が集まりました。冒頭の参謀総長からの投げかけは、「霊的生活成長」の働きが組織的に整えられて10年が経つけれども、果たして設立当初の目的は果たされているか？ 方向性や存在意義の見直しは必要だろうか？ というものでした。成長している所ではどんな取り組みがされているのか、課題はどう乗り越えていけるのか、報告や意見交換を活発におこなう一週間でした。

どんなにすばらしいスタートを切ったものでも、立ち止まって見直すことは大切です。長年にわたる救世軍の働きにおいても、霊的な実が結果として結ばれているのかをチェックすることは必要なことです。日本における「霊的生活成長部」のミニストーリーは、まだスタート地点に立てたかどうかというところで、見直しするところ

まで進めていないのが現状です。けれども、わたしたちの個人的な信仰の歩みはどうでしょうか。小隊・施設としての取り組みはどうでしょうか。キリストの兵士であるという霊的な実が、わたしたちの生活に表れているでしょうか。暗さを増していくこの世にあって、わたしたちの小隊・施設は希望の光を求める人たちが来ることのできる場所として輝いているでしょうか。

- 時々立ち止まって、方向性を確認する
- 聖霊が今、なんと語っておられるのかに耳を澄ませる

今年は3月6日(水)から受難節に入りますが、このことのために時間を用いてみたらいかがでしょうか。イエス様が命を捨ててまで救おうとされたわたしたちの魂は、今どういう状態にあるのか。わたしたちが属する小隊・施設は、イエス様の花嫁としてふさわしい準備をしているだろうか。この受難節、イエス様の十字架に思いを馳せつつ進むべき道を改めて示していただきましょう。

# YP (青少年部) ・ ファミリーニュース

## 杉並小隊

2018年12月16日(日)、聖別会の席上、眞鍋光希君の献児式を小隊長本村大輔大尉の司式でおこないました。杉並唱歌隊が、両親の眞鍋嗣道準候補生、恵準候補生と共に祝福の祈りを込めた賛美をしました。



## 月島小隊

12月16日(日)、京橋小隊と合同でおこなわれた新会館献堂記念聖別会の席上、加藤光次郎楽隊員・あゆみ楽隊員夫妻の次女、枝真ちゃんの献児式がおこなわれました。両祖父母の加藤秀夫・祥子少佐夫妻、平本宣広・保子少佐夫妻の出席もあり、加藤ファミリーにとっても、月島・京橋両小隊にも感謝とお恵みの時でした。



## 浜松小隊

12月15日(土)、小林勝利・早苗少佐夫妻宅にて「子どもとおとなのクリスマス祝い会」を開きました。「きよしこのよる」を歌い、ゲーム、オカリナ演奏、クリスマスメッセージがありました。手づくりのケーキ、ハヤシライスを食べ、最後にサンタクロースよりプレゼントがありました。(参加者子ども25人、大人5人)



## 祝成人!

2019年に救世軍の中で成人を迎えられた方々をご紹介します。神様の御祝福が豊かにありますようお祈りいたします。



西成小隊  
柴林 亮さん



杉並小隊  
石川 凜さん



杉並小隊  
寺澤 基輝さん



横浜小隊  
謝 慕楊さん

- 長野小隊 宮下 愛実さん
- 渋谷小隊 山谷 愛加さん
- 渋谷小隊 齋木 園実さん
- 大森小隊 鶴ヶ崎 豪大さん
- 名古屋小隊 烏丸 雄揮さん
- 名古屋小隊 手縄 匠さん
- 神戸小隊 立石 和奏さん
- 福山小隊 田辺 陽太さん



清瀬小隊  
高倉 満さん

## 八幡小隊

2018年12月23日のクリスマスサンデーの午後、キャンドルサービスの中で、ジュニア・イングリッシュの子どもたちが、「神さまの贈り物」(Christmas is a time to love)をメロディーベルで演奏し、英語で歌いました。また、「きよしこのよる」も、大人のトーンチャイムに合わせて演奏しました。一生懸命練習してきた甲斐あって、とても上手にできました。今度は、トーンチャイムにも挑戦します。この集会には、日曜学校に来ている子どもたちや、今年生まれた赤ちゃん2人も家族で参加し、小隊に連なる神さまの家族みんなでイエス様のお誕生をお祝いしました。(会衆28人)



青年デー (各連隊 4月末~5月初)  
テーマ「主の栄光を語り伝えよう」  
(歴代誌上 16章24節)

2019年世界祈禱日  
3月1日(金)  
世界各地で開催され、同じテーマに沿って祈ります。  
今年はスロベニアのために祈ります。



## 災害対策室レポート

### 東日本大震災継続支援

#### ■東雲サロン クリスマスのつどい

2018年12月18日(火)、東日本大震災による避難者交流組織「東雲の会」主催の「東雲サロン」にクリスマス支援として参加しました。バンドアンサンブルの演奏や、キーボードに合わせてクリスマスや日本の歌を全員で歌い、ケーキとお茶で親睦の時を楽しみました。30組のプレゼント(ぜんざいと餅)、お子さん5組へのプレゼント(お菓子の詰め合わせ)をお届けしました。(参加者40人、うち救世軍から8人 写真は16ページに掲載)

#### ■福島県双葉町埼玉自治会新年餅つき大会

2019年1月12日(土)、埼玉県に避難している福島県双葉町埼玉自治会主催の新年餅つき大会に参加し、昨年に引き続いて、コーヒーサービスと餅つきのお手伝いをしました。また、100組のプレゼント(ぜんざい、餅、うどん、お菓子、タオル、携帯カイロ)は、男子社会奉仕センター職員と街頭給食ボランティアが詰め合わせました。(参加者91人、うち救世軍から4人 写真は16ページに掲載)

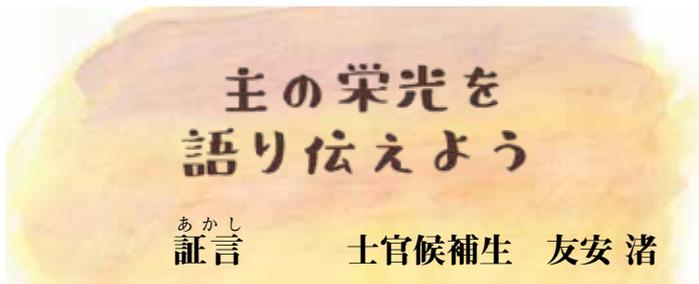
### 社会鍋の支援活動

#### ■関東医療少年院のクリスマス会

2018年12月11日(火)、神田小隊が窓口となり、東京東海道連隊内の青年有志によるブラスバンドの応援を得て参加しました。前半は、国分寺教会の願念牧師によるキャンドルサービス。後半は、音楽の時間として、クリスマスの曲などをバンドが演奏し、神田小隊長平本祐子大尉が短くお話をしました。

#### ■府中刑務所クリスマス礼拝

12月14日(金)府中刑務所講堂に於いておこなわれました。クリスマス・カロールが奏楽され、教誨師をしている黒田勲少佐の司会で進められました。士官学校長熊田光子少佐が開会祈禱を献げ、石坂奈緒美少佐(士官学校付)の伴奏で士官候補生が「主よあなたのちからにより」を合唱しました。樋口光世候補生が証しし、友安渚候補生が聖書を朗読。「すべての人に与えられる大きな喜びの知らせ」と題して樋口潔候補生がメッセージを取り次ぎました。教誨師の深山祐牧師の祝禱で閉会。社会福祉部から岡本貴仁少佐が同行し、サポートしました。(会衆153人、うち受刑者145人、士官学校5人)



私がキリスト教の神様を信じたことができたのは、25歳の夏です。それまでは、イエス様の話は知ってはいたけれども、信じることは別のものでした。目に見えない「神」という存在を信じるということがどういうことなのか全く理解できず、信仰をもっている人のことを不思議に思っていました。

救世軍の施設で働いていた私は、施設の職員ということで救世軍の集会に出席していました。その集会が始まる前にも、一緒に宿泊をしていた人に「なんで神様を信じられるの?」と聞いていました。しかし、その後の集会で、私は初めて恵の座で祈り、イエス様と本当の意味で出会い、父なる神を受け入れることができました。

それまでは、母が病気で亡くなった時に支えてくれる人たちがいたこと、学校選びや、救世軍の施設で働いていたこと等は「偶然」だと思っていました。しかし、それらのことは、実は、神様が私の人生にかかわり、助けてくださっていたのだという気づきを与えられました。クリスチャンではない私をも神様はちゃんと知っていてくださり、その時その時に必要な人を与えて、助けてくださっていたのです。そして、神様が何度も私のことを気に掛け、手を差し伸べてくださっていたことに全く気づかず、信じることに否定的だったにもかかわらず、そ

れでも神様は両手を広げて待っていてくださっていたのだ、とようやく気づくことができたことは、とても大きな衝撃でした。そして、気持ちがとても楽になり、自然と「イエス様を信じます」と祈り、イエス・キリストの父なる神様に従っていこうと決心しました。

信仰をもってからは、物事の捉え方が大きく変わりました。特に、子どもにかかわる仕事をする上で、神様の存在は私にとって大きな心の支えであり、イエス様は良き模範でした。行き詰まった時、「イエス様ならどうされるだろうか」と祈り、求めることにより、冷静に考えることができました。信仰がなければ、同じようにかかわることはできなかったと思います。

「ヤコブよ、あなたを創造された主は イスラエルよ、あなたを造られた主は 今、こう言われる。恐れるな、わたしはあなたを贖う。あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。」(イザヤ43・1)

神様は、私たちが神様のことを知る前から、一人ひとりのことを何もかも知っておられます。困難や苦しみの中にある時にも共にいて、支えてくださり、前に進む力を与えてくださる神様に感謝します。

#### 〈救いの証言をお寄せください!〉

皆さんのお手元に救世軍の今年の標語についてのリーフレットがありますか? リーフレットの質問事項を参考にして、証言を書いてみましょう。また、ぜひ皆さんの救いの証言を小隊長を通じて『とぎのこえ』編集部(救世軍本管内)までお寄せください!

#### 〈証言の動画を配信します〉

救世軍公式ホームページでは、証言の動画を随時公開する予定です。現在、友安候補生の証言が配信されています。

救世軍公報

転任(カック内は継続任命)

川口小隊長(週二日に変更)

補清瀨小隊長 坂本 恭子少佐

補清瀨小隊長付(週二日) 吉田 司少佐

(兼清瀨病院チャプレン(週二日) 吉田恭子少佐

(兼内部監査担当を解く (財産部付) 田中禎一少佐

(兼士官志願者部長の任を解く (青少年部長、災害対策室長) 石坂臣司少佐

補(兼)財産部長 (副財務管理部長) 石坂臣司少佐

ナイジェル・ラスコム少佐

補医療部長 ピーター・ホワイト少佐

(兼財産部長の任を解く (財務管理部長) 寺澤 勇少佐

補士官学校付(専任) 勝篋 隆大尉

補士官志願者部長 (兼士官学校付) 勝篋 隆大尉

補高崎小隊長 勝篋実香大尉

補高崎小隊長付 吉田 敬大尉

補青少年部長心得 吉田知恵子大尉

補杉並小隊長 朝澤義人大尉

補(兼)内部監査担当 朝澤まりこ大尉

(財務管理部長補佐) ジョナス・ランドバーグ特務曹長

二〇一九年三月二十八日付

補(兼)浜松小隊長 (東京東海連隊(東海地区)連隊長補佐) 太田晴久少佐

補静清小隊長 熊田光子少佐

補士官学校長 熊田光子少佐

ゲイル・ホワイト少佐 二〇一九年四月二日付

補岡山小隊長 (兼福山小隊長) 石坂臣司少佐

(兼西日本連隊青少年部書記 (兼軍国インターンシップディレクター) 石坂臣司少佐

補岡山小隊長付 (兼福山小隊長付) 石坂臣司少佐

(兼軍国インターンシップディレクター) 石坂臣司少佐

補(兼)京都小隊 小隊事務担当 (兼西日本連隊青少年部書記の任を解く) 石坂臣司少佐

(神戸小隊長 (兼西日本連隊付) 立石真崇少佐

補(兼)災害対策室長(臨時) (男子社会奉仕センター施設長、(兼二施設(新光館・男子社会奉仕センター)統括責任者、(兼)社会福祉部付) 岡本貴仁少佐

補前橋小隊長 細貝信義大尉

補前橋小隊長付 細貝のぶ江大尉

補青少年部長 朝澤義人大尉

二〇一九年四月十一日付

補士官学校付(週三日) (兼)財産部付(週二日) 田中禎一少佐

士官学校付の任を解く (杉並小隊長(専任任命) 本村いずみ少佐

二〇一九年七月一日付 熊谷小隊長の任を解く

川口綾子少佐 (兼災害対策室の任を解く (人事・教育部長、(兼)教育部長、(兼)銀星章書記) 石川一由紀少佐

補(兼)軍国CCM書記 本村いずみ少佐

補(兼)関東東北連隊青少年部書記 (兼)関東東北連隊青少年部書記の任を解く 細貝信義大尉

吉田 敬大尉 以上の任命日は後報

医療部長の任を解く 吉田真中将

医療部チャプレンの任を解く 吉田かほる中将

二〇一九年三月二十七日付 以上

司令官 ケネス・メイナー

麻布小隊は、三月三十一日をもって活動を終了する。

(函館小隊、長野分隊、桐生小隊、浪江小隊、大森小隊、上野小隊、長沢分隊、鶴橋分隊は引き続き連隊長管轄)

引退 吉田恭子少佐(清瀨小隊出身)は、二〇一九年三月二十八日付をもって現役を引退。

引退後も清瀨小隊長付(週二日)、(兼)清瀨病院チャプレン(週二日)の奉仕を継続される。

四十年永年勤続章 (三月二十五日付) 樋口愛子少佐

(三月二十五日付) 平本宣広少佐

(三月二十五日付) 木村照子少佐

三十五年永年勤続章 (三月二十六日付) 徳永幸次郎少佐

三十年永年勤続章 (三月二十六日付) 荒井好光少佐

(三月二十六日付) 熊田光子少佐

(三月二十六日付) 山谷昌子少佐

昇任 三月二十一日付 添田美和大尉

任少佐

司令官 ケネス・メイナー (兼)軍国インターンシップディレクターについては詳細後報

オーストラリア軍国から来日する士官をご紹介します

ピーター・ホワイト少佐及びゲイル・ホワイト少佐夫妻は、1995年『愛の使者』の学年候補生として士官学校に入校。1997年に任官され、オーストラリア東部軍国の小隊士官を経て、コンゴ(ブラザビル)軍国、南アフリカ軍国、モザンビーク軍国で奉仕。ピーター少佐は、看護及び健康管理の専門知識を生かし、高齢者施設長や、消防関係のチャプレンなどの働きに従事しました。ゲイル少佐は、看護、神学及び法律の専門を生かし、小隊長、チャイルドスポンサーシップ部長、『ときこのえ』編集及び文書部長などの働きに従事しました。ご夫妻の日本での働きを覚えてお祈りください。

克己週間募金 パートナース・イン・ミッション

日本の救世軍は、バングラデシュ地区、カナダ及びバミューダ軍国、ラテンアメリカ北部軍国、リベリア地区(シエラレオネを含む)、マラウイ軍国とパートナーの関係にあります。今回、特にマラウイ軍国と、バングラデシュ地区の様子をご紹介します。

○マラウイ軍国 救世軍では、大人への識字教育、農業指導、飲用水整備、衛生環境整備プロジェクト、救急搬送など地域開発に取り組み、人身取引の被害者支援や、HIV感染の影響を受けている人々への働きに取り組んでいます。



○バングラデシュ地区 人口約1億6千5百万人の約

15%の人が貧困状態にあると言われています。救世軍では、小学校や幼児教育センターの運営、視覚及び聴覚障がい児への職業訓練などの教育支援をおこなっています。また、性産業などで労働搾取の中にあつた女性への職業支援「OTHERS」の働きは、女性の自立への大きな助けになっています。現在、日本の救世軍でも「OTHERS」の製品を取り扱っております。製品を購入することで、女性を支援することができます。(お問い合わせは出版供給部まで)



◆日本の救世軍は、インドネシア軍国からの支援要請にこたえて、昨年、克己週間の資金から直接支援をおこないました。詳しくは『ときこのえ』2780号(2019年3月1日発行)をご覧ください。



## 添田 信義少佐 天に召さる

添田信義少佐は、2018年12月7日、搬送先の聖路加国際病院より天に召されました。87歳でした。

1954(昭和29)年、渋谷小隊より『救霊者』の学年候補生として士官学校に入校。任官後は鶴橋、泉尾、関西連隊で副官として奉仕し、1956年より、熊谷、麻布小隊長を経て、東京連隊、本営社会部の任命を受けました。1964年、ICO(士官のための万国士官学校)に出席。1966年、高橋和子大尉と結婚。以後、小隊長として八幡、岡山小隊で夫人と共に奉仕。1971年、希望館長、1972年、少佐に任じられ、1980年、25年永年勤続章授章。1984年、自助館長兼男子社会奉仕センター、1987年、男子社会奉仕センターの任を解かれ、1990年、35年永年勤続章授章、1994年、聖地旅行参加。1995年、40年永年勤続章授章、1996年に引退。引退後も自助館長として奉仕を継続されました。2007年自助館施設長の任を解かれた後も自助館で週3日奉仕し、2010年に完全引退。その後も月島小隊に属し、忠実な士官兵士、楽隊員として奉仕されました。告別式は12月12日、書記長官藤井健次大佐補の司式で、神田小隊においておこなわれました。

ご遺族の上に神様のお慰めをお祈りいたします。



## 西宮 昭子少佐 天に召さる

西宮昭子少佐(旧姓小野寺)は、2018年12月20日、療養中でありましたご自宅より召されました。76歳でした。

1961(昭和36)年、仙台小隊より『キリストの僕』の学年候補生として士官学校に入校。任官後は渋谷小隊付、呉愛光園付(臨時)を経て、1965年大尉となり、同年西宮幸治大尉と結婚。結婚後は、夫君と共に横須賀小隊、関西連隊本部、本営総務部、東海道連隊、名古屋小隊を転戦。1978年、中国連隊家庭団書記の任を受け、呉小隊、呉保育所でも奉仕。1984年、夫君と共に婦人寮の働きに従事し、1987年、25年永年勤続章授章。1996年救世軍社会福祉オーストラリア視察旅行、1997年聖地旅行に参加。同年、35年永年勤続章授章。2004年、銀星章書記兼事業企画部ゴスペルハウス担当。2006年、兼ブース記念病院ボランティア室付の任を受け、ゴスペルハウス担当の任を解かれ、2006年に引退後も奉仕を継続、2007年老人保健施設グレイスを最後に翌年完全引退。引退後も杉並小隊に属し、忠実な士官兵士として奉仕されました。告別式は12月26日、東京東海道連隊長石川和男少佐の司式で、杉並小隊・総合センターでおこなわれました。ご遺族の上に神様のお慰めをお祈りいたします。



## 救世軍歌集

### 作者物語

連載 230

#### 395 われらともに主にまもられ(チャールズ・ウェスレー Charles Wesley) (1707 - 1788)

チャールズ・ウェスレーは、英国国教会牧師サムエル・ウェスレーの18番目の末子。後のメソジスト運動の指導者ジョン・ウェスレーは兄。チャールズは、回心直後から賛美歌を書き始めたが、それらは無学な人々にキリスト教の教理を教える役割を果たした。また、集会の度毎に、彼のつくったばかりの賛美歌が会衆によって歌われた。彼はその生涯中6,500以上の歌をつくっている。

この歌は、1749年につくった歌である。この歌について、J・アーネスト・ラッテンバリーはこのように言っている。「この歌をメソジスト教会の歴史—この200年間、年一回開かれるカンファレンス(年会)で報告された内容を鑑みながら読む時、この歌詞に非常に心動かされるものである。初期の頃、伝道者たちは大きな迫害と貧苦の中にあった。イングランド中を伝道して回る中でしばしば暴動に遭い、絶え間ない命の危険に脅かされた彼らにとって、この歌の出だしの歌詞(今なお生かされて、相見幸い—原文直訳)は、年に一度開かれるカンファレンスで一堂に会して歌う内容として、実感を伴う意味のあるものだった。これは今日の私たちには理解しにくいものであろう。」

この歌は、作者編纂の『Hymns and Sacred Poems』(1749)の第2巻「Hymns for Christian Friends」という項目に掲載され、そこでは「At meeting of friends」のタイトルがつけられている。ジョン・ウェスレー時代の後半、英国におけるメソジスト教会の年会でこの歌が最初に歌われていた。ジョン・ウェスレー編纂の『A Collection of Hymn for the Use of the People called Methodists』(1780)では、4節が省かれている。この歌は、救世軍の前身であるクリスチャン・ミッションの聖歌集にも収録された。

♪♪ 救世軍音楽週間 ♪♪  
4月14日(日)～21日(日)

#### 396 山なすたからも(宮川勇) (1889 - 1945)

宮川勇は、長野県上田に生まれた。1910年にキリスト教に入信し、明治学院神学部を卒業。日本基督教会牧師として、東北、九州、関西、北海道で伝道・牧会した。小さい頃から文学と絵画を好み、和歌、俳句、新体詩などをつくっていたが、入信してからは賛美歌をつくり、その数は数百とも千とも言われている。『讚美歌』(1931年版)の編纂にあたっての公募に応じ、7編が採用された。うち4編が1954年版の『讚美歌』にも収録された。彼の歌詞は、日本的キリスト教の主張が濃く現れているのが特徴である。彼は、晩年、静岡県清水市で牧会し、その地で56年の生涯を閉じた。

この歌は、救世軍の「親孝行デー」(現在の母の日)のために、「いつくしみ深き」の曲に合わせて歌えるようにつくられた。

### 〈ご案内〉 『恵みを伝える者』の学年 士官候補生歓迎集会

4月5日(金) 午後7時 山室軍平記念ホール

Welcome  
Cadets!

メッセージ：司令官 ケネス・メイナー大佐  
奏楽：ジャパン・スタッフ・バンド  
合唱：ジャパン・スタッフ・ソングスターズ

神様は、あなたを必要としています。  
あなたは召されていませんか？

18歳～48歳の方で、救世軍士官として生涯を献げて奉仕するよう、神様から召命を受けている方は、小隊長または本営士官志願者部までご連絡ください。

献身者が起こされるように、お祈りをお願いいたします

救世軍本営 士官志願者部 電話 03 - 3237 - 0881

### 酒害強調週間

3月31日(日)～4月7日(日)



お酒は人生に深刻な悪影響を与えます。周りの人にも酒害について伝えましょう。

### 克己週間 献納集会

5月10日(金)  
午後7時  
山室軍平  
記念ホール

創立者 ウィリアム・ブース 大将 ブライアン・ペドル(万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 ケネス・メイナ(救世軍本営 東京都千代田区) <http://www.salvationarmy.or.jp>



## こどもと青年のための 祈りの週間

3月22日(金)～31日(日)

DREAM BIG～pray like a child  
大望を抱き、幼子のように祈る

今年の3月31日(日)、こどもと青年のために全世界の救世軍で祈ります。小隊に、「こどもと青年のための祈りの週間」のための祈りとデモンストラーション資料をお届けしました。

ぜひ、こどもたちのため、青年たちのために心を合わせて祈りましょう！

## 支援活動アルバム



### 写真位置

- ①②③ ①「東雲サロンークリスマスのついで」  
(2018年12月18日)
- ④⑤ ②「東雲サロンークリスマスのついで」
- ⑥⑦ ③「『かたつむり』でのクリスマス集会」  
(2018年12月8日)
- ④ 「クリスマスイブの街頭給食で」  
(2018年12月24日)
- ⑤ 「クリスマスイブの街頭給食で」
- ⑥ 「福島県双葉町埼玉自治会新年餅つき大会」  
(2019年1月12日)
- ⑦ 「福島県双葉町埼玉自治会新年餅つき大会」

### (取扱支部)

発行日及び定価  
 ▼発行日  
 福音版・毎月一日発行  
 広報版・奇数月十五日発行(除七月)  
 ▼定価  
 福音版・一部 四〇〇円  
 広報版・一部 一〇〇円  
 クリスマス特集号(十二月一日号)  
 ・一部 一〇〇円  
 振替・〇〇一八〇五四四〇〇

発行兼 救世軍  
 印刷人 代表者ケネス・メイナ  
 編集人 寺澤 真由子

〒101-0051 東京都千代田区  
 神田神保町二ノ十七  
 電話 東京(03)三三七〇八八一  
 発行所 救世軍本営  
 印刷所 株式会社ビーアンドエス